Best Available Copy

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-238245

(43)Date of publication of application: 31.08.2001

(51)Int.CI.

H04Q 7/34 H04L 12/28

(21)Application number: 2000-043015

(22)Date of filing:

21.02.2000

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

(72)Inventor: KIDOKORO MASAHIRO

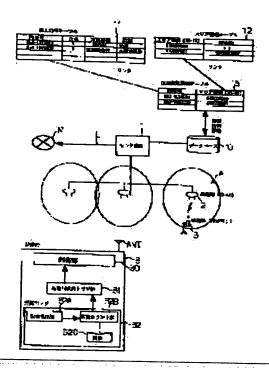
NAGAI MOTOTAKA MISE TOSHIRO FUJIWARA NORIAKI NAGATA AKIRA OOKAGE SATOSHI NAKAO YUTAKA UENO YOSHIAKI OISHI TOMOKO

(54) MOBILE STATION MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mobile station management system that can group a detailed location of a person possessing a mobile station.

SOLUTION: A center unit 1 is provided with a personal information table 11 that registers personal information, an area management table 12 that registers information of an area A, and a position register information table 13 linked with the tables 11, 12. A mobile station 1 makes a request to a nearby base station 2 to register position information at the operation start of the mobile station 1 or when the mobile station 1 moves to other area A, and the base station 2 receiving the request registers the position information of the mobile station 1 including base station information to the position registration information table 13 of the center unit 1, and the center unit 1 manages the information of the person possessing the mobile station 1 and its position by referencing the position information of the position register information table 13 through the link with the personal information of the personal information table 11 and the area information of the area management table 12.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

25 (18) 日本四条作庁 (1 b)

€ 機 ধ 盐 华 噩 ধ

特開2001-238245 (11) 特許出層公園等与

	(43)公開日	(P2001-238245A) 平成13年 8 月31日(2001.8.31)	245A) 9 (2001. 8. 31)
P I		Ï	f-73-1°(€.4)
H040	7/04	Ü	5 K 0 3 3
H04B	1/28	1063 6	6 K 0 8 7
H04L	11/00	3108	

12/28 H04Q 7/34

H04L (51) Int C.

審査職収 未請求 解求項の数15 OL (全 40 頁)

(72) 発明者 (72) 張明者 (74) 代國人		(\$ E\$2000 - 43015(P2000 - 43015)	(71)出版(7	(71) 出版人 000005832	
	¥	平成12年2月21日(2000.2.21)	_	欧卜里工练式会社 大阪帝門其市大学門其1048番地	
			(72) 発明者	基 日本	
			_	大阪府門其市大学門真1048番地	松下電工
(72) 現明者 永井 基本 大阪府門其市大学門第1048番組 松下電工 株式会社内 (74)代理人 100087684 弁理士 中井 宏行				条式设计方	
大阪府門東市大学門東1048番地 松下電工 株式会社内 (74)代理人 100087684 弁理士 中井 宏行			(72)発明者	大井 高学	
株式会社内 (74)代理人 100087684 弁理士 中井 宏行				大阪府門其市大学門其1048番地	松下電工
100087664 外理士 中井				条式会社内	
			(74)代理人	100087664	
			_		
			<u> </u>	4	新瓦袋
ン部以直接環	I				

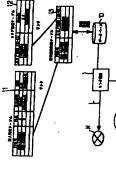
(54) [発明の名称] 移動局管理シスチム

【県題】移動局を所持する個人の幹細な母褄所を把握す ることができる移動局管理システムを提供する。

[解決手段] センタ装置1は、個人の情報を登録した個 ア管理テーブル12と、これらのテーブル11, 12に 人情報テーブル11と、エリアAの情報を登録したエリ リアAに移動したときには、最寄りの基始局2に位置情 り、センタ装置1は、この位置登録情報テーブル13の 移動局1は、この移動局1の組動時、あるいは、別のエ 柳の登録を要求し、これを受けた基地局2は、その基地 **恐情保を合む移動局1の位置情報を、センタ被買1の位** リンクする位置登録情報テーブル13とを備えており、 国登録情報テーブル13に登録させるようになってお

位置情報を、個人情報テーブル11の個人情報、エリア とによって、移動局 1 を所有する個人の情報と、その位 管理テーブル12のエリア情報とリンクして参照するこ

置とを管理する。



[特許][東の亀田]

[精束項1] 個人毎に所有される移動局と、離他内にお ハて予め区分されたエリア毎に設置される基地局と、セ ンタ質質とで律成され、上配センタ質質が、上配移動局 上記センタ挺置は、上記個人の情報を登録した個人情報 テーブルと、上記エリアの情報を登録したエリア管理テ **一ブルと、これらのテーブルにリンクする位置登録情報** の位置情報を管理する移動局管理システムにおいて、 テーブルとを備えており、

上配移動局は、この移動局の起動時、あるいは、別のエ リアに移動したときには、最寄りの基均局に位置情報の

発像や原状し、

これを受けた上記基地局は、その基地局情報を合む上記 移動局の位置情報を、上記センタ装置の位置登録情報を ーブルに発像させるようになっており、

上記センタ披露は、この位置登録情報テーブルの位置情 って、上記移動局を所有する個人の情報と、その位置と 程テーブルのエリア情報とリンクして参照することによ 報を、上記個人情報テーブルの個人情報、上記エリア管 を管理する構成の移動局管理システム。

上記移動局は、この移動局の鎮動回敷を計割する複動計 [請求項2] 請求項1において、

回敷計翻する毎に、上配移動局に対して、最寄りの基地 関手段を備えており、この援助計関手段が、援助を所定 局に対して、上記位置情報の登録を要求する構成の移動 **町管理システム。**

して位置適移履歴管理テーブルに登録するようになって **ープルに登録する年に、この位置情報を位置選移履歴と** おり、この位置遷移機器管理テーブルの位置遷移機器に 地ムいて、上四谷物局の今の谷物先となるエリアや予盟 上記センタ装置は、上記位置情報を上記位置登録情報テ 【請求項3】請求項1または請求項2において、 する構成の移動局管理システム。

上記移動局は、上記移動局の移動する方位を検出する方 位検出手段を備えており、上記センタ装置は、この方位 彼田手段によって彼出される方位情報に基づいて、上記 移動局の次の移動先となるエリアを予測する構成の移動 【酵水項4】酵水項1または酢水項2において、 影響理システム。

上記センタ披覆は、上記移動局の位置情報を発録する毎 に、これに含まれるエリア情報を、景録した時刻ととも に位置登録履歴として登録する位置登録機服管理ターブ ルと、上記個人毎にそれぞれのエリアに静止する耐限時 **寛を示す劇程時間情報を登録した場所静止劇程時間テー** [請求項6] 職求項1において、 プルとを備えており

が朝限時間を超えているか否かを、上記場所静止朝限時 上記位置登録履題テーブルの位置登録履歴と、上記位置 発療療像アーブルの位置信仰とに基めいて、上的移動局 の一定エリアにおける静止時間を算出し、その静止時間

的例2001-238245

宮テープルの数磁器を配信機に基めいた判断する様点の参 【酵水母6】酵水母1において、 動局管理システム。

登録する位置登録環歴管理ターブルと、上記個人毎に立 ち入り禁止区域情報を登録した立ち入り禁止マップとを 上記センタ設置は、上記移動局の位置情報を登録する毎 に、これに含まれるエリア情報を、位置発験機配として 個えており、

上記位置登録履歴テープルの位置登録機歴と、上記立ち 立ち入り禁止区域に近づいているか否かを判断する構成 上記移動局が、上記立ち入り禁止区域情報で規定された 10 入り禁止マップの立ち入り禁止区域情報とを基にして、 の移動局管理システム。

看職権の所有する移動局を更に譲え、 [額水項7] 額水項1において、

付けて発験した担当者職婦テーブルと、上記者譲続とそ の所有する移動局番号とを対応付けて登録した着護婦所 上配センタ接側は、上配個人とその担当番舗婦とを対応 有移動局テーブルとを備え、

上配移動局は、この移動局の第下を検出する格下後出手 し、更に、これを受けたセンタ報酬が、修下した移動局 段を備えており、この幕下他出手段が上記移動局の轄下 に対応する単繊維所有物物局に対して、上的物物局が特 を検出したときには、その旨を上記センタ接置に通知 下した旨を通知する構成の移動局管理システム。 2

骨機器の所有する移動局を更に備え、 [額米損8] 額水損1において、

上記センタ装置は、上配個人とその担当者譲締名とを対 **応付けて発動した担当準額線テーブルと、上記者臨線と** その所有する移動局番号とを対応付けて発像した看護語 所有移動局テーブルとを偉え、 S

応レベル以下であることを依出したときには、その首を 上記センタ装置に通知し、更に、これを受けたセンタ装 上記移動局は、点衝戦の水位を撤出する水位後出手段を 備えており、この水位衡出手段が上記点衝滅の水位が所 て、上院点衝簸の木位が所定アスル以下になった留や通 異が、上記移動局に対応する種類種所有移動局に対し

知する構成の移動局管理システム。 [酵水項9] 酵水項1において、

40 上記センタ装置は、上記個人毎の各種別定値を登録する 個人図定位情報テーブルを備え、

首を、上配センタ装備に通知し、これを受けたセンタ装 上記移動局は、上記個人の各種阅定値を閲定する測定手 段を備えており、上記園定手段によって勘定された閻定 Bが、上配別定値を上配個人間定値情報テープルに登録 する構成の移動局管理システム。

[暦米里10] 歴代暦9においた。

上記移動局は、上記刻定手段として血圧剤定装置を備え るとともに、この移動局の複数回奏を軒割する複数計図 60 手段を備えており、

Ñ

上記センタ装置は、上記個人毎に食事種類を規定した食

が、この血精値を上記個人拠定価情報テーブルに発集す えており、この血糖植物定装置によって拠定される血糖 上記移動局は、上記憲定手段として血糖省憲定装置を備 定する構成の移動局管理システム。 るとともに監視して、この血糖値に応じた食事指摘を決 値を上記センタ装置に通知し、これを受けたセンタ装置 **脊脊根テーンパを備え、** ö

省に捕りいた、土民駅治営抗投資によった密払される駅 上記センタ装置は、上記個人拠定値情報テープルの遡定 るとともに、この原拍側定手段によって衡定される原拍 上記移動局は、上記側定手限として原拍側定装置を備え 記録知手段によって報知する構成の参勤局管理システ 受けた移動局が、上記個人の原治が異常であることを上 ときには、上記移動局に対してこの皆を通知し、これを 拍が異常であるか否かを判断し、異常であると判断した 彼が異常であることを保知する領知學級を備えており、 【請求項12】請求項9において、 8

る朽れ徳出手数を備えており、この汚れ徳出手段が朽れ 上記移動局は、上記個人が付けるおむつの汚れを検出す せる構成の移動局管理システム。 アを判断し、そのエリアに設置される換気装置を作動さ **ブルの位置信仰を基にして、上記等数周の位置するエリ** し、これを受けたセンタ装置が、上記位置発集情報テー を検出したときには、その旨を上記センタ装置に通知 上記エリア毎に設置された換気装置を備え、 【曽永弘13】 曽永長1において、

看腰側の所有する移動局を更に備え、 【野水県14】野水県1において、

の所有する移動局番号とを対応付けて発像した着機構所 付けて整像した担当着機構テープルと、上記者機構とそ 上記センタ装置は、上記個人とその担当着機棒とを対応 有移動用テーンルとを備え、

ンタ装置に通知し、更に、これを受けたセンタ装置が、 動計劃手段を備えており、この運動計劃手段が、所定の 上記移動局は、この移動局の援動の大きさを計画する領 大きさ以上の援助を計測したときには、その旨を上記せ 個人がもがいている旨を通知する構成の移動局管理シス 上記移動馬に対応する階震場所有移動局に対して、上記

上記移動局は、上記個人の摂取した食事量を測定する食 整要する個人食事摂取量情報テーブルを備え、 上記センタ装置は、上記個人等にその摂取した食事量を 事摂取量謝定爭数を備えており、この食事摂取量期定年 【請求項16】 請求項1において、 g

量を上記個人食事摂取量情報テーブルに登録する構成の 知し、これを受けたセンタ装置が、通知された食事摂取 段によって側定される食事摂取量を上記センタ装置に通

移動局管理システム。 [発明の詳細な説明]

[0001]

ンタ披置が、上記移動局の位置情報を管理する移動局管 数値される基地局と、センタ装置とで構成され、上記セ る移動局と、連動内において予め区分されたエリア毎に 増システムの改良に関する。 【発明の属する技術分野】本発明は、個人毎に所有され

いれば、基地局が発呼元の移動局に対して、着信不可の アナウンスを行ったり、ポイスメールを受け付ける代理 先の移動局が電源オフ状態であったり、個外に位置して ーシステムでは、着信先の移動周は、複数の指定番号か を行うようになっている。すなわち、このようなセルラ 応答がなされるようになっている。 ら一家に選択されるようになっており、このとき、着信 着信先の指定書号として、物理的な番号を設定して発呼 【従来の技術】現状のセルラーシステムでは、移動局が

ず、また、ポイスメールとして発揮しても、着機構がし **使していれば、そのときは伝達したいことが伝達でき** 合、着信先となる移動局を所有する看護婦が、圏外に位 連することができないため、例えば、このセルラーシス 可能な状態でなければ、リアルタイムにメッセージを伝 ルラーシステムでは、着信先に選択した移動局が、着信 テムを病院におけるナースコールシステムに適用した縁 【発明が解決しようとする課題】ところで、上記したセ

いるが、同一ページングエリアに位置する基地局は、そ の区別なく管理されているため、移動局の位置情報は **本位置発集の単位として、移動局の位置指指を発撃して** ベージングエリアの単位でしか彼出することができず、 青岩拳機能があるが、ページングエリアと呼ばれる範囲 [0004]また、このようなセルラーシステムには位

辞書な参数周の位置は毎られなかった。

ぱらくしてからしか確認することができず、ナースコー

小の意味をなさない。

ŧ 動局を所持する患者の状態に合わせて、道時その状態を のであり、ナースコールシステムに適用した場合に、移 【0006】本発明は、上記事情を考慮してなされたも 馬を所持する患者の詳細な思導所を把握することができ 管理したり、帰職機を呼び出すことができ、また、移数 る移動局管理システムを提供することを目的としてい

[0006]

は、センタ装置は、個人の情報を登録した個人情報デー に、本発例の請求項1に記載の移動局管理システムで 【無難を解決するための手段】上記目的を建成するため

> ルとを備えており、移動局は、この移動局の起動時、あ その基地局情報を含む移動局の位置情報を、センタ装置 るいは、別のエリアに移動したときには、最新りの基地 と、これらのテーブルにリンクする位置登録情報テーフ プルと、エリアの情報を登録したエリア管理テーブル 回敷計測する毎に、移動局に対して、最常りの基地局に 捌手段を備えており、この援助計割手段が、援動を所定 は、移動局は、この移動局の複動回費を計劃する複数計 動馬を所有する個人の情報と、その位置とを管理する。 報を、個人情報テーブルの個人情報、エリア管理テープ り、センタ楽者は、この位置栄養者表テープルの位置表 の位置困憊情報テープルに困憊させるようになったお 馬に位置情報の登録を要求し、これを受けた基地局は、 **ルのエリア情報とリンクして参照することによって、岑** 対して、位置情報の発集を原求する。 【0007】請求項2に記載の移動局管理システムで

の位置通移履歴管理テーブルの位置通移履照に基心い 班原する年に、この位置指領を位置通移履肥として位置 は、センタ装置は、位置情報を位置是製情報テープルに て、移動周の次の移動先となるエリアを予測する。 選移履誘管理テープルに発像するようになっており、こ 【0008】請求項3に記載の移動局管理システムで

は、移動局は、移動局の移動する方位を検出する方位検 の位置発棄履制と、位置発棄情報テーブルの位置情報と 段時間テーブルとを備えており、位置登録程限テーブル する制限時間を示す制限時間情報を発像した場所静止制 **康熙管理テープルと、個人毎にそれぞれのエリアに静止** 報を登録する毎に、これに含まれるエリア情報を、登録 動局管理システムでは、センタ装置は、移動局の位置管 移動先となるエリアを予測する。 請求項 5 に記載の移 によって検出される方位情報に基づいて、移動局の次の 出手段を備えており、センタ装置は、この方位検出手段 出し、その静止時間が衝隔時間を超えているか否かを、 に基づいて、移動局の一定エリアにおける静止時間を算 【0009】 請求項 4 に記載の移動局管理システムで **場所静止無限時間テーブルの航限時間情報に基づいて**単 した母셄とともに位置整像履服として発揮する位置発揮

は、センタ披露は、移動局の位置情報を発験する毎に、 り、位置発療履肥テーブルの位置発療履肥と、立ち入り する位置揺録履歴管理デープルと、個人毎に立ち入り兼 これに含まれるエリア情報を、位置登録履歴として翌年 囚機に近ろいているか否かを判断する。 馬が、立ち入り禁止区域情報で規定された立ち入り禁止 禁止マップの立ち入り禁止囚禁情報とを描にして、 物数 止区域情報を整像した立ち入り禁止マップとを備えてお 【0010】 請求項6に記載の移動局管理システムで

は、個人とその担当者機構とを対応付けて発像した担当 は、看機嫌の所有する移動局を更に備え、センタ装置 【0011】 請求項7に記載の移動局管理システムで

看機構テープルと、看機構とその所有する移動局番号と

4

特開2001-238245

え、移動周は、この移動周の幕下を検出する幕下検出手 着護婦所有移動局に対して、移動局が幕下した旨を通知 出したときには、その旨をセンタ装置に通知し、更に、 段を備えており、この幕下検出手段が移動局の落下を検 を対応付けて登録した増護婦所有移動馬テーブルとを備 これを受けたセンタ装置が、幕下した移動局に対応する

は、看機嶋の所有する移動局を更に備え、センタ装置 は、個人とその担当看護婦名とを対応付けて登録した担 備え、移動局は、点摘薬の水位を検出する水位検出手段 当者機構テープルと、看機構とその所有する移動局番号 移動局に対応する看機場所有移動局に対して、点摘薬の を備えており、この水位検出手段が点満巣の水位が所定 とを対応付けて登録した階酸場所有移動局テーブルとを 水位が所定レベル以下になった旨を通知する。 ンタ装置に通知し、更に、これを受けたセンタ装置が、 レベル以下であることを検出したときには、その旨をセ 【0012】請求項8に記載の移動局管理システムで

8 【0013】精水項9に記載の移動局管理システムで たセンタ装置が、拠定値を個人適定値情報デープルに狙 **測定された測定値を、センタ装置に通知し、これを受け** 値を測定する制定手段を備えており、制定手段によって 拠定値情報テープルを備え、移動局は、個人の各種創定 は、センタ装置は、個人毎の各種樹定値を発録する個人

を備えており、この援動計劃手段が、一定時間につき所 は、移動馬は、側定手段として血圧側定装置を備えると ともに、この移動局の複動回敷を計劃する複動計劃手段 定回敷以上の振動を針捌している間は、血圧療定装置に よる血圧の微定を中止する。 【0014】請求項10に記載の移動局管理システムで

は、センタ装置は、個人毎に食事程類を規定した食事情 **報テーブルを備え、移動局は、拠定手段として血糖値数** するとともに監視して、この血糖値に応じた食事種類を 夕装置が、この血管値を個人遊店賃貸報テープルに影像 される血糖値をセンタ装置に通知し、これを受けたセン 左接置を備えており、この血腫値器左接置によって密圧 【0015】請求項11に記載の移動局管理システムで

ともに、この無拍測定手段によって測定される原拍値が は、移動順は、樹定手段として原拍樹定装置を構えると 人の原拍が異常であることを報知手段によって報知す 局に対してこの旨を通知し、これを受けた移動局が、毎 か否かを判断し、異常であると判断したときには、移動 て、脈拍測定装置によって測定される脈拍が異常である 夕装置は、個人拠定被情報テーブルの拠定値に基づい 異常であることを報知する報知手段を備えており、セン 【0016】請求項12に記載の移動局管理システムで

(0018) 酵水項14に配象の移動局管理システムでは、複種機の所有する移動局を更に値え、センタ雑画は、個人とその担当機構をを対応付けて発展した担当程機構をその所有する移動局等与と対応付けて発展した担当を開業とその所有する移動局等与とも対応付けて発展した経費との所有を動局を争とを対応付けて発展した単環幕所有移動局を予止できる。 本対応付けて発展した単環幕のの援助の大きさき計割する複動計型等段を成えており、この援助計割手段が、所定の大きさ以上の援助を計別したときには、その官をセンタ経費に適かし、更に、これを受けたという装職が、移動局に対応する複種部所有移動局に対して、個人がもおいている哲を過かする。

[0019]

8

「発明の実施の形態」以下に、本発明の実施の形態について、図面とともに限明する。図1は、本発明の移動局管理システムの要能構成の第1例を示す図である。 [0020] このものは、移動局の位置を停定する粉刷の位置移位システムを構成しており、整節回線制に接続されるセンタ装置1と、この装置1に接続される基地局2と、個人毎に所有される移動局3とを組み合むせて構成されている。なお、ここでは、センタ装置1は電節回線1を介している。なお、ここでは、センタ装置1は電節回線1を介している。なお、ここでは、センタ装置1は電節回線1を介している。なお、ここでは、センタ装置1は電節回線1を介している。が、本発明ではこの例に限られず、セルラージステム制に接続されたものであってもよい。

【0021】センタ装置1は、データペース10を備えており、データペース10は、個人情報(移動局番号、氏名、所具部署、役割など)を登録した個人情報テーブル11と、エリアAの情報(エリア名、その所生地など)を登録したエリア管理ケーブル12と、これらのテーブル11、12にリンクし、移動局3の位置情報(後述)を登録するための位置登録情報テーブル13とを確まてた。

[0022]移動局31次、PHS強来器などで韓成されており、この移動局3を回復する回動的30と、超電筒30に対して、最帯りの海路局2の資業を原共する路局の設策・リガ節31と、設勢中国中国を様成し、この移動局30度数回製を特成し、この移動局30度数回製を計算し、立ち、設勢に関する援助をンサ32と、センタ報庫1との四て電視の送受信をするためのアンテオANTとを確えている。この移動局3において、避虧をンサ32は、複勘を後出する疑勘後出籍32Aと、疑勘後出額32Aと、疑勘後出籍32Aが後出した複動の回数をカウントする短割カケント的32Bとを値えており、短點カウント部32Bに、

よってカウントされる援助回敷が、所定の顕鏡3.2 Cとなるたびに、基地局管案トリガ的3.1 が、衝撃部3.0 に対して最多の直施局2の債業を要求する構成となって、こ

[0023]にのシステムの動作を、図2とともに限所する。すなわち、このシステムでは、布着地彫るは、函響チャネルを送出して(A.1)、これらの場地彫るに関するエリアAの重像(スーパーンレーム信息)を、 カバーナるエリアAの正面大砂に送信しており、移動風3ではその機関がよンとなり(A.2)、道他のとのの影響チャネルを構造し(A.3)、道他した配響チャネルが、以前維促した配響チャネルが、以前維促した配響チャネルが、以前維促した配響チャネルが、以前維促した配響チャネルが、以前維促した配響チャネルが、以前維促し、企業した道地彫るドネルを開放して、一般等して、企業もの海地原の主義を受けて、この移動局の方面に、この移動局のが正当なものであるからか、発展した、の存む原の表現生し、配度内容を合んだメッセージである原匠原来を移動局のに対えていて、

にれた安けた谷動局3は、指地局2からの際匹払数を指 にして、所定の際位置する場合でよっては最大・窓位資業 様果として配貸し、この結果を含むメッセージである既 原存谷を基地局2に対して設出する。そして、補地局2 は、認配過数と移動局3からの際匹貨算結果(いずれも 部送)とを、センタ被覆1に対して位置电線原原原来と して当台する。

[0024]センタ装置1は、基地内2からの関而抗衡と限距筒算結果とから、移動用3が正当なものと確認したのち (A6)、位置登録情報テーブル13に、移動用の位置情報(各部局番号、エリア情報など)を登録し(A7)、登録がおちと位置登録配応符を連進局2に送出し、これを受けた基地局2は、位置登録が第一たことを切ら社5。移動用3に油かして、位置登録が第丁したことを切らせる。移動用3に当かし、、直接の2からの指導を表げし(A8)、基地局2から再度的割ケャネルの分け付けを待ち受ける状態となり(A9)、基地局2から再度的割ケャネルの分耳度的割ケャネルを受信すると(A10)、発導中等呼などの各種サービスの指示を持つようになる(A1

[0025] 擬形センサ32は、このような製作を行っているときに、移動局3の旋動回敷も指導中間しており(A12)、計型される凝動回敷が所近の顕真32になる毎に(A13)、最市りの進出局2の姿質を要失し、これを受けた移動局3は、告述した位置地最も合実行する。そして、複数センサ32は、凝整の中間質をリセットする(A14)。

[0026]にのように、移動局3の職種がオンとなったり、移動局3が到のエリアAに移動したとき、更に、策制センサ32が研究回収の援助を計動したときには、センタ被雇1は、移動局番号と、移動局3の最市のコ 50 リア情報などが接続できるので、移動局3を研修する国

人の母権所が移命かつ詳細に包ることができる。

10027】次に、本独の参数配準型シャルである。 第400至27】次に、本独の参数配準型シャナの製品 株式の第2名を図3に示す。このものは、移動局の参数 場所を予盟する参数の参数予定シッカセを示しており、 セン参数属1のデータペース10に、移動局3の、移動 型と砂路板のそれぞれにおける位置修築を、位置総移 題として投資する位置総移機関管理や・フル14を買い 【0028】このシステムの動作を、図るとともに取用する。なお、図中、81~815に示す動作は、超治した41~415に示す動作と図ーであるため説明を省略することにする。このシステムでは、セング機関は、哲治した参野局3の位債権をの発命をする時に、そのが国際権を位便議券開展として位債職券開展管理と、その位債権を登録して、のテーブル14の位債職等を開展に基づいて、移動局3の次の移動化となるエリアるを予定し、予盟したエリア名をテーブル14に登録する(816)。

.[0029]このように、センタ装置1は、テーブル」 4の位置基格層配に基づいて、移動局3の次の移動先と なるエリアAを予測するので、移動局3の現在地から、 予測したエリアAの方向に向かり第下の服明などを行 で、この解下を通過整剤灯するなどの動作を行うことが 印色シャス [0030]次に、本発明の移動局管理システムの要部 構成の第3例を図6に示す。このものは、前述した、移 動局の移動場所を予閲する移動局移動予閲システムの別 [0031] このシステムの動作を、図6とともに説明 この移動局3の移動する方位を検出する方位検出部など する。なお、図中、C1~C14に示す動作は、前途し たA1~A14に示す動作と同一であるため説明を省略 することにする。このシステムでは、前述した援助セン サ3.2が、移動局3の複動回敷が、所定の職債3.2.Cに なるたびに、ジャイロセンサ33m対して、移動馬3の 移動方向の後出を要求するようになっており、ジャイロ センサ33がこれを受けて、移動局3の移動方向を被出 て、移動局3、基地局2を介して、センタ強置1に送出 し、これを受けたセンタ披掘1が、受信した方向後知信 倒を示しており、移動局3は、方位後出手股を構成し、 像に基力いて、移動局3の次の移動先となるエリアAを で構成されるジャイロセンサ33を更に値えている。 し (C15)、被出した移動方向を方向被包存機とし 予選する (C16)。

[0032]このように、センタ報義1は、ジャイロセンサ35による方向後的情報に指力いて、移動局3の次の移動化となるエリア名を予盟するので、指述した第3例と回線に、移動局3の現在地から、予盟したエリアAの方向に向かり第下の原因などを行い、この題下を追随後指灯するなどの動作を行うことが可能となる。

[0033]次に、本発明の移動局管理システムの要都 60 た立ち入り禁止区域に

時間2001-238245

9

様成の第4例を図りに示す。このものは、移動局3が一定の位置に制限時間以上静止しているか否かを判断する移動局静止判断システムを示しており、センタ機直1は、移動局3の位置情報を位置地等情報ケーブル13に程験する時に、これに含まれるエリイ情報を、程保した時期ともに位置程局機関して登録する位置程序機関管理ケーブル15と、個人体にそれぞれのエリアAに静止する制限時間を示す問限時間情報を登録した場所静止が配限時間テーブル15とを更に値えている。

[0034] このシステムの動作を、図8とともに説明 する。なお、図中、D1~D11に示す動作は、相送し たA1~A11に示す動作と同一であるため税用を省略 移動局3の位置情報を位置発験情報テーブル13に登録 する毎に、これに合まれるエリア情報を、登録した時刻 聞として登録するようになっており(D 1 2)、この位 質発験機器管理テーブル16の位置投験機器と、位置投 療徒権テーブル13の位置権権とに指力いて、移動局の 一定エリアにおける静止時間を算出し (D13)、その とともに、位置登録履歴管理ターブル15に位置登録程 静止時間が制限時間を超えているか否かを、場所静止制 磁移電かープル16の超級等間信仰に構るいて性所する (D14)。このとき、朝限時間を超えていれば、セン することにする。このシステムでは、センタ披展1は、 夕装置 1 は、看機婦が所有する移動局やナースセンター にその日を追加すればよい。 9 8

[0035]にのように、センタ機関1は、位置物機器 固管型ケーブル15の位置物機器と、位置地線機能・ ーブル13の位置情報とに適合いて、移動局の一所エリ アにおける酵止時間を貸出し、その酵止時間が起限時間 を超えているか否かを、適所等止層限時間の一分の16 の超限時間情報に基づいて判断するので、移動局の所持 する人が、同一の場所に耐限時間以上いるかどかを強 実に判断でき、これにより不適の事種が生じる前に早期 は対処することができる。

[0036]次に、本班町の移動局管理システムの原的 構成の第5例を図9に示す。このものは、移動局3が立ち入り単止区域に近づけば、その管を通復する立ち入り 禁止過程システムを示しており、センタ披置1は、エリ ア管理テーブル12、位置発験情報を一ブル13、位置 発験配置管理テーブル16(いずれも前送)の他に、個 人体に立ち入り禁止区域情報を発験した立ち入り禁止マップ17を値えている。

[0037] このシステムの整件を、図10とともに関明する。なお、図中、B1~B12に示す動作は、前述したD1~D12に示す動作と同一であるため製用を増することにする。このシステムでは、センタ装置1

は、位置単線整理医学型テーブル16の位置発動機関と、立ち入り禁止では存储をに適づいて、移動局3が、立ち入り禁止区域情報で設定された立ち入り禁止区域情報で設定された立ち入り禁止区域に近づいているか否かを対断し(E

区域に近ろいているか否かを判断し、近づいていると判 3が、立ち入り禁止区域情報で規定された立ち入り禁止 肥管選ターブル16の位置発奪履題と、立ち入り禁止々 区域に侵入した人に対して、旱息に立ち入り禁止区域か 移動局 3 が、所定の警報を発報するので、立ち入り禁止 新すれば、警備要求を移動局3に送出し、これを受けた ップ 1 7の立ち入り集出囚禁者集とに組むいた、券製局 **【0038】このように、センタ装費1は、位費登録器** らの立ち退きを要求することができる。

を示しており、増護網の所有する移動局4を更に備え、 構成の第6例を図11に示す。このものは、移動局3が 送)の他に、個人とその祖当着機構名とを対応付けて発 センタ装置1は、個人情報テープル11、エリア管理タ **客下すれば、その旨を通報する移動局帯下通報システム** 泰した祖当常鑁縁テーブル18と、潜護婦とその所有す ープル12、位債制保証指アープル13(いずれも約 数局3の条下を被出するショックセンサ34を更に着え 的法した影響的30の他に、海下被出手要を禁成し、移 テープル19とを更に備えている。また、移動局3は、 る移動局番号とを対応付けて登録した看護網所有移動局 【0039】次に、本発明の移動局管理システムの要節 慰奪約30に通知するようになっている。 抗の重賞34B以上の簡単や被出したときに、その習や ており、ショックセンサ34は、幕下後出部34Aが所

3 4 が、所定の職債3 4 B以上の衝撃を検出すると(F 格することにする。このシステムでは、ショックセンサ したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 男する。なお、國中、F1~F11に示す動作は、前途 優1は、個人情報テーブル11と、担当看護師テーブル 12)、移動局は、その管を基地局2を介してセンタ数 【0040】 ニのシステムの動作を、関12とともに数 て、移動局が幕下した旨を通知する。 存下した移動局 3 に対応する希腊維所有移動局 4 に対し 18と、増穫焼所有参酌局ゲーブル19とを基にして、 費1に適知し(F13)、更に、これを受けたセンタ数

その旨を通知するので、帰腹縁はこれを受けて早急に対 受けて、その移動局3に対応する看護網所有移動局4に 皆をセンタ装置1に通知し、更にセンタ装置1がこれを 処することができる。 【0041】これにより、移動周3が帯下すると、その

構成の第7例を図13に示す。このものは、個人に住入 プル11、エリア管理テープル12、位置登録情報テー る移動用4を更に備え、センタ接債1は、個人情報デー る点摘終了過報システムを示しており、潜機機の所有す している点面膜の容量が少なくなれば、その資を通報す プル13(いずれも前途)の他に、個人とその祖当春機 【0042】次に、本発明の移動局管理システムの要節

> 位後出手段を禁成し、点衝震の木位を後出する木位でん る。東た、移動局3は、前述した影響部30の他に、水 乗した塔鹿線所有移動局テーブル 19 とを更に備えてい と、帰機線とその所有する移動局番号とを対応付けて登 縄名とを対応付けて登録した祖当着護縄テープル18 米位を検出したときに、その首を記録的30に過ぎする は、水位レベル検出館35Aが所定の開催35B以下の グセンサ36を更に強えたおり、火位フスグセンサ36 ようになっている。

男する。なお、図中、G1~G11に示す動作は、前述 移動馬4に対して、点衝が終了または終了間際である旨 路することにする。このシステムでは、水位アベルセン とを基にして、郷下した移動局3に対応する着腹場所有 介してセンタ装置1に通知し(G14)、更に、これを 【0043】このシステムの動作を、図14とともに数 着機構テープル18と、着機構所有移動馬テープル19 受けたセンタ装置1は、個人情報テープル11と、担当 サ35が、所定の開催35B以下の水位を検出すると したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 (G12, G13)、移動局3は、その資を基地局2を

曽を通知するので、看護婦はこれを受けて早急に対処す て、その移動局3に対応する看機構所有移動局4にその センタ装置1に通知し、更にセンタ装置1がこれを受け [0044]これにより、点摘が終了すると、その旨を

る人体側定値通知システムを示しており、センタ装置 1 別定値(血圧値、脈拍値など)をセンタ装置1に通知す 動局 3 は、煎送した制御節 3 0 の他に、麹定手数を構成 る個人側向値情報テープル20を構えている。また、移 は、個人情報テープル11、位置発揮情報テープル13 構成の第8例を図15に示す。このものは、個人の各種 成される人体針例センサ36を備えている。 し、個人の各種拠定値を測定する人体計劃量測定部で構 【0045】次に、本発明の移動局管理システムの要的 (いずれも前述) の他に、個人毎の各種態定値を登録す

格することにする。このシステムでは、人体計画センサ したD1~D11に示す動作と同一であるため数男を省 別する。なお、図中、H1~H11に示す動作は、前途 3.6が、常味個人の各種拠定値を搬定しており(H1 した捌定値を個人捌定値情報テーブル20に是除する 夕装置 1 に通知し、これを受けたセンタ装置 1 は、受信 2)、移動局3は、この側定値を副地局2を介したセン 【0046】このシステムの動作を、閏16とともに数

機構の負担が大幅に経験する。 来、増養婦が行っていた測定作業が自動的に行われ、着 個人の各種測定値を測定し、この拠定値を、センタ抜展 1が個人態定義情報テープル20に発揮するので、状 【0047】これにより、人存計道センサ38が、新昌

50

示しており、センタ装置1は、個人拠定鎮情報テーブル 値をセンタ装置 1 に通知する血圧測定値通知システムを 構成の第9例を図17に示す。このものは、個人の血圧 わも前途)で構成されており、血圧計センサ36は、個 2は、葡萄独出館32A、葡萄カウント館32B(いず もに、人体計画センサとして、血圧計センサ36を備え た、移動局3は、前近した援助センサ32を備えるとと として、血圧側左値情報テープル20を備えている。ま 6 Aが血圧値を測定するタイミングを生成する計測タイ 人の血圧値を測定する血圧測定部36A、血圧測定部3 ている。なお、薬物センサ32において、薬物料剤部3 【0048】次に、本発明の移動局管理システムの要節 ミング生成第36Bで構成されている。

したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 明する。なお、図中、11~111に示す動作は、前述 センタ装置1に選知し、これを受けたセンタ装置1は、 動局 3 はこれを受けて、この血圧値を基地局 2 を介して なければ (113)、血圧値を適定する (114)。 移 想定をせず、所定の開催3 2 C以上の援動を計劃してい の複数を計画していれば(113)、その間は血圧質の 動センサ32が、一定時間につき所定の難値32C以上 援動の計劃状況を問い合わせ(112)、このとき、擬 6 は、計劃タイミングになれば、援助センサ32による 略することにする。このシステムでは、血圧針センサ3 【0049】このシステムの動作を、図18とともに説 受信した拠定値を血圧拠定値情報テーブル20に登録す

圧遡定値情報テーブル20に登録するので、従来、看護 担が大幅に軽減する。また、援助センサ32が、一定以 人の血圧値を測定し、この血圧値を、センタ装置 1 が血 ば、その間は血圧値の測定をしないので、正確な血圧性 担につき所定の開催32C以上の复数を計数していた 縁が行っていた拠定作業が自動的に行われ、看護婦の負 を収集することができる。 【0050】これにより、血圧学センチ36が、病腎歯

事情報テーブル21を備えている。また、移動局3は、 に、個人毎に食事種類(投棄種類も含む)を規定した食 登録する個人血糖値情報テーブル21を備えるととも に、個人遡応値情報テープルとして、個人毎の血糖値を 1、位置整備情報テーブル13(いずれも前述)の他 を示しており、センタ装置1は、個人情報テープル1 精値をセンタ装置 1 に通知する血管測定額通知システム 構成の第10例を図19に示す。このものは、個人の血 人体軒捌センサとして、血糖質複出部36Aなどで構成 【0051】次に、本発明の移動局管理システムの要抗 される血糖針センサ36を備えている。

格することにする。このシステムでは、血糖計センサ3 明する。なお、図中、 』1~ 』11に示す動作は、前送 したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 [0062] ニのシステムの動作を、図20とともに数

6が、常時個人の血糖値を遊応しており(扌1~)、

8

特別2001-238245

は、食事情報テーブル21に基づいて、受信した血糖質 動局3は、この血糖値を基地局2を介してセンタ装置1 報テーブル20に整像済みの過去の血精値とを比較し のとき、センタ装置1は、受信した血管値と、血管資料 値を山塘値情報テーブル20に発揮する(J13)。こ に通知し、これを受けたセンタ装置1は、受信した血薬 に最も適した食事程類や投薬程類を決定する(J1 して警告動作を行う(J14)。また、センタ装置1 **合、因示しない表示部に警告メッセージを表示するなど** て、今回受信した血糖値が高いか否かを判別し、高い場

最も適した食事種類や投棄種類を決定するので、非常に による血糖値の異常の有無を判別したり、この血糖値に に極減する。また、センタ装飾1は、血糖計センサ36 ていた拠定作業が自動的に行われ、看護婦の負担が大幅 情報テープル20に登録するので、従来、着簡単が行っ 血糖値を遡だし、この血糖値を、センタ装置 1 が血糖値 [0053] これにより、血糖計センサ36が、個人の

ルとして、個人駅拍別定値テーブル20を備えている。 を示しており、センタ装置1は、個人側皮護情報テープ 拍信をセンタ装置1に追知する原拍例定値通知システム 構成の第11例を図21に示す。このものは、個人の駅 を鍛えるとともに、人体計劃センサとして、原治圏定部 また、移動局3は、報知手段を構成するアラーム部37 【0054】次に、本発用の移動局管理システムの要的 などで構成される原柏針センサ36を備えている。

男する。なお、國中、K1~K11に示す動作は、前述 し (K 1 3, K 1 4) 、高い場合、原拍異常としてその 略することにする。このシステムでは、原拍針センサ3 れを受けて、この原拍値を基地局2を介してセンタ装置 6は、常時個人の原拍値を計測しており、移動局3はこ したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 とを比較して、今回受信した原拍値が高いか否かを判別 個人原柏朗定領テープル20に登録済みの過去の原柏伽 2)。このとき、センタ装置1は、受信した原拍値と、 原拍賞を個人原拍劇的値テープル20に発象する(K1 1に通知し、これを受信したセンタ装置1は、受信した 【0056】このシステムの動作を、図22とともに数 人原拍遡左値テーブル20に登集するので、従来、看護 人の原拍値を遡定し、この原拍値を、センタ装置 1 が値 ラーム部37より所定の警備音を発揮する(K16)。 皆を移動局3に送出し、これを受けた移動局3では、ア れば、その旨を個人に向けて警告するので、注意を喚起 担が大幅に軽減する。また、センタ装置1は、原柏針セ 錦が行っていた測定作業が自動的に行われ、着腰部の角 ンサ3.6による原治値の異常の有能を判別し、異常があ 【0056】これにより、原拍針センサ36が、常時個

させることができる。

時間2001-238245

[0067] 次に、本発明の移動局管理システムの要能 構成の第12例を図23に示す。このものは、個人が付 けているおむつが素尿などで汚れたときに、その旨を通 懶するおむつ汚れ遠順システムを示しており、エリアA 出手段を構成し、個人の付けているおむつの汚れを検出 また、移動局3は、自済した関御部30の台に、汚れ後 するおむつ汚れ後出師38Aなどで構成されるおむつ汚 は、前述した位置登録情報テーブル13を偉えている。 毎に散置された換気装置5を更に傭え、センタ装置1 れセンサ38を備えている。

[0058] このシステムの動作を、図24とともに脱 男する。なお、図中、L1~L11に示す動作は、前途 したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 **サ38が、おむつの汚れを彼出すると(L12)、移動** 局3は、その旨を基地局2を介してセンタ装置1に通知 質置5に対して換気通知をし(L13)、これを受けた 格することにする。このシステムでは、おむつ汚れセン するエリアAも、位置登録情報テーブル13の位置情報 に基づいて判別し、判別したエリアAに設置される換気 し、これを受けたセンタ装置1は、この移動周3の位置 後気装置5が作動する(L14)。

[0059]これにより、おむつ汚れセンサ38が、お むつの汚れを検出すると、移動局3は、その旨を基地局 2を介してセンタ装置1に通知し、これを受けたセンタ 装置1は、この移動局3の位置するエリアAを、位置発 な情報テーブル13の位置情報に超るいて判別し、判別 したエリアAに設置される鉄気装置5に対して換気通知 をし、これを受けた後気装置5が作動するので、糞泉な どにより個人の付けているおむつが汚れても、そのにお いを早急に消すことができる。

を所持する個人が、苦しんでもがいているときに、その 【0060】次に、本発明の移動局管理システムの更能 構成の第13例を図26に示す。このものは、移動局3 冒を通報するもがき通報システムを示しており、推議機 の所有する移動局4を更に備え、センタ装置1は、個人 情報テーブル11、エリア管理テーブル12、位置登録 育盤テーブル13、担当學製器テーブル18、看製學所 4九、谷郡あ3は、飯智第30、飯郡センサ32(いず 有移動局テーブル19 (いずれも前途) を備えている。 れも前途)を備えている。

【0061】このシステムの動作を、図26とともに説 したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 が、移動局3の複動を常時計劃しており(M12)、所 8 と、看護棒所有移動局テーブル 1 9 とを基にして、こ 男する。なお、図中、M1~M11に示す動作は、前途 格することにする。このシステムでは、援動センサ32 定の関値32G以上の扱動を計図すれば(M13)、移 動局 3 はこれを受けて、その旨を基地局 2 を介してセン 1が、個人情報テーブル11と、担当智健婦テーブル1 タ装置1に通知し (M14)、これを受けたセンタ装置

の移動局3に対応する看護婦所有移動局4に対して、個 人がもがいている旨を通知する。

につき所定の関値3.2.C以上の複数を計割すれば、移動 [0062] これにより、類動センサ32が、一定時間 局3はこれを交けて、その旨を基地局2を介してセンタ 披煙1に通知し、これを受けたセンタ装置1が、担当着 模様テーブル18と、看機棒所有移動局テーブル19と を施にして、この物物あるに対応する場際部所有体制を 4 に対して、個人がもがいている旨を通知するので、看 簡単はこれを受けて早急に対処することができる。

【0063】次に、本発明の移動局管理システムの要部 構成の第14例を図27に示す。このものは、個人の食 事務取量をセンタ装置 1 に通知する食事核取量通知シス アムを示しており、センタ質置1は、個人情報テーブル 11、位置登録情報テーブル13(いずれも前述)の色 に、個人毎にその役階した食事役間量を登録する個人会 **手板取量情報テーブル21を備えている。また、移動局** 3 は、前述した制御部30の他に、食事摂取量間定手段 39(ベッドゲーブルTに樹え付けられる)を備えてい を構成し、個人の後種した食事量を限定する監査センサ 5. 気臭センナ39は用途別に39A~39Dのセンサ が用着され、センサ39Aはご飯用、センサ39Bはお 吸い物用、センサ39Cはおかず1用、センサ39Dは おかず2用となっている。 2

[0064] このシステムの動作を、図28とともに説 したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 格することにする。このシステムでは、就量センサ39 は、食前と食徒の食器の宣量から、個人の食事摂取量を 男子を, なお、図中、N1~N11ド州子豊布は、雪が 水めるようになっており (N12)、移動局3はこれを 受けて、この食事摂取量を基地局 2を介してセンタ装置 1に通知し、これを受けたセンタ装置1は、受信した食 草摂助量を、個人食事摂取量情報テーブル21に登録す & (N13)

[0065] これにより、移動局3は、観音センサ39 によった倒定された食事板取量を基地局2を介したセン 夕装置1に退知し、これを受けたセンタ装置1は、受信 した食事摂取量を、個人食事摂取量情報テーブル21に 登録するので、センタ装置1で、個人の食事摂取量を正

強に把握することができる。

[発明の効果] 以上の説明からも理解できるように、本 発明の請求項1に記載の移動局管理システムでは、移動 **局が紐動したり、別のエリアに移動したときには、セン** で、移動局を所持する個人の母権所を容易かつ詳細に知 タ装置は、移動局の位置情報、すなわち、移動局番号 や、移動局の最寄りのエリア情報などが登録できるの ることができる。

は、複動計割手段が所定回敷の複動を計割する毎に、セ [0067] 請求項2に記載の移動局管理システムで

ンタ技能は、移動局の位置信義、すなわち、移動局衛争 で、移動局を所得する個人の母権所を容易かつ詳細に知 や、移動局の最寄りのエリア情報などが登録できるの

移動局の次の移動先となるエリアを予測するので、移動 馬の現在地から、予想したエリアの方向に向かう廊下の 田男などを行い、この廊下を通過後前灯するなどの動作 [0068] 請水項3に記載の移動局管理システムで は、移動通移電腦テーブルの位置通移機圏に基ろいた、 を行うことが可能となる。

は、方位後出手段によって後出される方位情報に基ろい 請求項3と同様に、移動局の現在組から、予捌したエリ アの方向に向かう廊下の服明などを行い、この廊下を通 [0069] 請求項4に記載の移動局管理システムで て、移動局の次の移動先となるエリアを予図するので、 過後消灯するなどの動作を行うことが可能となる。

移動局の一定エリアにおける静止時間を算出し、その静 止時間が朝限時間を超えているか否かを、場所静止朝限 かどうかを確実に判断でき、これにより不割の事種が生 は、センタ装置は、位置登録機器テーブルの位置発縁機 谷勢局の所持する人が、同一の場所に関係時間以上いる **駅か、位置角線を除かしアケの位置を集から組むいた、** 時間テーブルの数段時間情報に基づいて判断するのか、 [0070] 請求項5に記載の移動局管理システムで じる前に早期に対処することができる。

縁帰間と、立ち入り禁止マップの立ち入り禁止区域情報 は、センタ装置は、位置恐衛機器管理ターブルの位置発 とに捕るいた、谷物局が、立ち入り禁止区域信仰や推定 **し、近心にたいると也を十九ば、磐島原状を移動局に泌** 出し、これを受けた移動局が、所定の警報を発報するの で、立ち入り禁止区域に侵入した人に対して、早急に立 された立ち入り禁止反鳴に近ろいているか否かを判断 [0071] 請求項6に記載の移動局管理システムで ち入り禁止区域からの立ち過きを要求することができ

し、更にセンタ披霞がこれを受けて、その移動局に対応 する看機桶所有移動局にその旨を過知するので、看機線 【0072】 請求項7に記載の移動局管理システムで は、移動局が帯下すると、その旨をセンタ装置に通知 はこれを受けて早急に対処することができる。

は、個人の点摘が終了すると、その旨をセンタ装置に通 応する脊膜維所有移動局にその質を通知するので、脊膜 知し、更にセンタ班置がこれを受けて、その移動局に対 [0073] 請求項8に記載の移動局管理システムで 帰はこれを受けて早急に対処することができる。

は、御定手段が、常時個人の各種御定値を測定し、この 関定値を、センタ装置が個人間定債債備を一プルに登録 するので、従来、看護婦が行っていた靭定作業が自動的 [0074] 静水項目に記載の移動局管理システムで に行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。

時間2001-238245

9

[0076] 請求項10に配載の移動局管理システムで は、血圧調定装置が、常時個人の血圧値を測定し、この 山圧値を、センタ装置が山圧砌定値情報を一プルに登録 するので、従来、春間婚が行っていた別定作業が自動的 に行われ、看腰棒の負担が大幅に軽減する。

[0076] 請求項11に記載の移動局管理システムで の血糖値を、センタ技蔵が血糖質情報ゲーブルに登録す 指揮は、血糖針センサによる血糖値の異常の有能を判別 るので、従来、春間棒が行っていた図及作業が自動的に したり、この血糖質に最も適した食事健康や投薬程類を は、血糖値割定装備が、常時個人の血糖値を割定し、こ 10 行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。また、センタ 改定するので、非常に利便である。

は、原拍徴定装置が、常時個人の駅拍値を徴定し、この [0077] 請求項12に記載の移動局管理システムで 原柏値を、センタ装置が個人原柏砌定値テーブルに登録 するので、従来、春穣縁が行っていた勘定作業が自動的 に行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。また、セン 夕強層は、原拍函定装置による原拍値の異常の有無を判 別し、異常があれば、その旨を個人に向けて警告するの で、住意を喚起させることができる。

【0078】 請求項13に記載の移動局管理システムで は、汚れ他出手殴が、おむつの汚れを使出すると、移動 局は、その旨を基地局を介してセンタ装置に通知し、こ れを受けたセンタ報信は、この移動局の位置するエリア し、判別したエリアに設置される機気装置を作動させる ので、糞尿などにより個人の付けているおむつが汚れて **や、位置射像情報アーブルの位置信義に組んされ地別** も、そのにおいを早急に消すことができる。

【0079】請求項14に記載の移動局管理システムで は、援助計割手段が、所定の関値以上の援動を計割すれ ンタ塩屋に通知し、これを受けたセンタ装置が、この移 ば、移動局はこれを受けて、その旨を基地局を介しても 動局に対応する看護機所有移動局に対して、個人がもが いている旨を追加するので、看護婦はこれを受けて早命 に対処することができる。 8

[0080] 静水項16に記載の移動局管理システムで は、移動局は、個人食事板取量間定手段によって測定さ これを受けたセンタ披露は、受信した食事摂取量を、個 人食事摂取最情報テーブルに避録するので、センタ設置 れた食事摂取量を基地局を介してセンタ設置に適知し、 で、個人の食事摂取量を正確に把機することができる。

【図1】本発明の移動局管理システムの更能構成の第1 (図面の簡単な説明) 気を示す図である。 [図2] 図1のシステムの動作を説明するための図であ

【図3】本発明の移動局管理システムの要部構成の第2 例を示す図である。

[図4] 図3のシステムの動作を説明するための図であ

倒やボヤ困である。 【図 5】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第3 【図6】図5のシステムの動作を説明するための図であ

史やぶ十四つかる。 【図8】図7のシステムの動作を観明するための図であ 【図7】本発明の移動局管理システムの要節構成の第4

史中ド十四いもる。 【図10】図9のシステムの動作を説明するための図で 【図9】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第6

õ

6 使や水十回なめる。 【図11】本発明の移動局管理システムの要部構成の第

【閏13】本発明の移動局管理システムの要部構成の第 【図12】図11のシステムの動作を説明するための図

【図15】本発明の移動局管理システムの要部構成の第 【図14】図13のシステムの動作を説明するための図 7例を示す困である。 ક

8名を示す因である。 【図17】本発明の移動局管理システムの要節構成の第 【図16】図15のシステムの動作を説明するための図

19・・・ 発展場所有移動局テープル

21・・・食事情報テープル 20・・・個人図点資格をトプル

9例を示す因である。 【図18】図17のシステムの動作を説明するための図 【図19】本発明の移動局管理システムの要節構成の第

【因20】因19のシステムの動作を説明するための因 【図21】本発明の移動局管理システムの要結構成の質

10包を示す因である。

【図22】図21のシステムの動作を説明するための図

1 1 宏寺ド十四かもめ。

【図23】本苑界の移動局管理システムの要的構成の第

【図28】図27のシステムの動作を説明するための図 13例を示す因である。 14例やボナ関である。 【図27】本発界の移動局管理システムの要部構成の第 733. 【図26】図25のシステムの動作を説明するための図 【図25】本発明の移動局管理システムの要部構成の第 【図24】図23のシステムの動作を説明するための図 12男を示す困ぐある。

4 · · · 移動周(看機網所有) 3 · · · 移動局 (個人所有) 2・・・基地局 1・・・センタ機関 【符号の説明】

13・・・位置張樂情報テープル 18・・・担当帰職等テープル 17・・・立ち入り禁止マップ 16・・・位債指導機器を選テープル 14・・・位置遷移履騰管理テーブル 12・・・エリア管理テーブル 11・・・個人情報テープル 5・・・美気装章 16・・・ 場所学业制度専門テープル

હ 32・・・凝想センキ 22・・・個人会事摂取最情報を干ブル 3 6・・・人存軒着センタ 33...ジャイロセンサ 38・・・おむら汚れセンサ 3 4・・・ショックセンサ A · · · エリア 37・・・ブラーム部 35・・・米位フペグセンキ

C. O

配合 セクソマタ

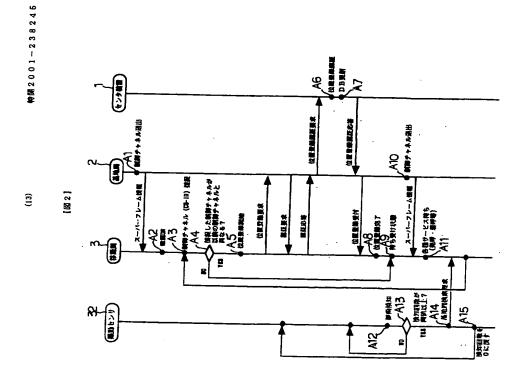
R

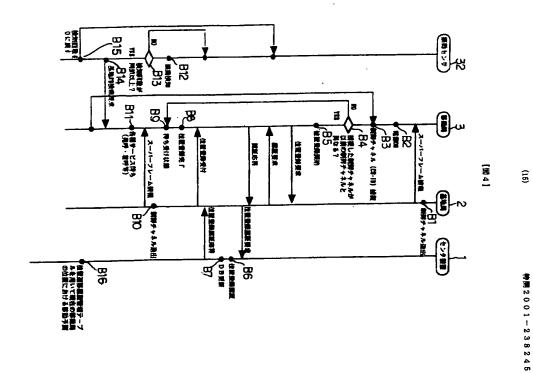
北西町南州下リガ南

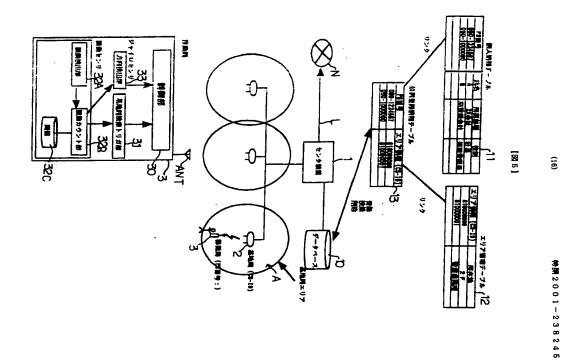
= = = 1) リンク 1 センタ機関 **₹** 83 他国党権技術デーブル サーサスーン エリア管理テーブル N. ST リンク

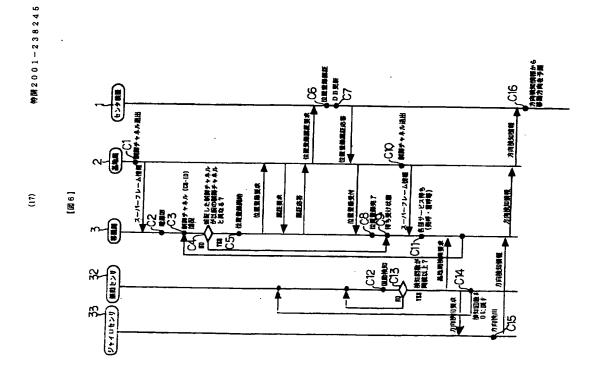
(12)

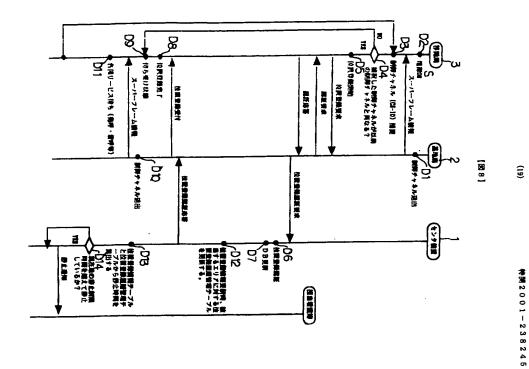
(B)

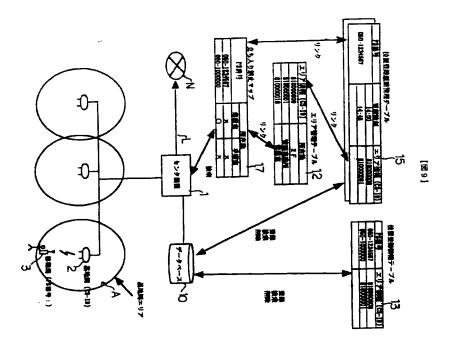






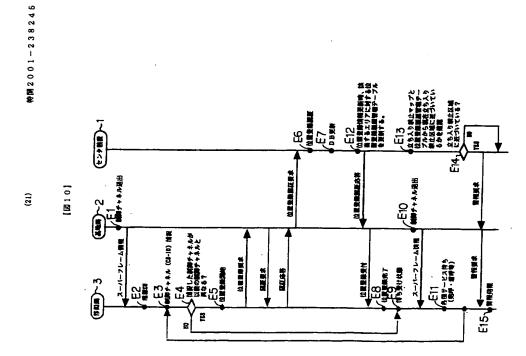






(20)

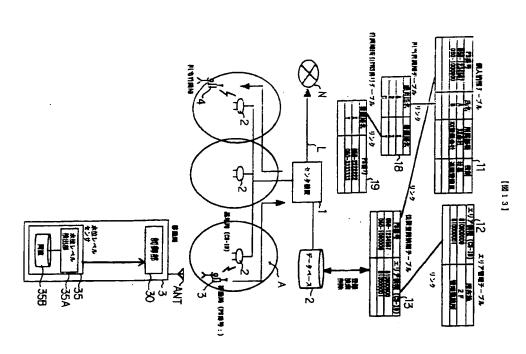
特開2001-238245

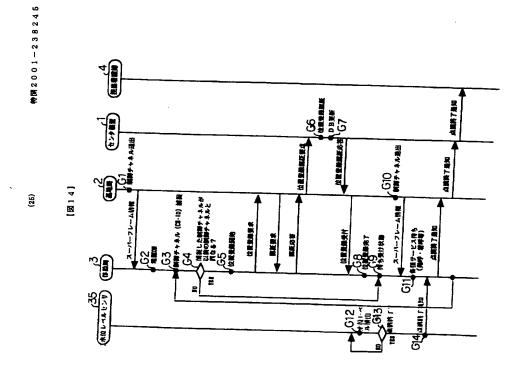


(23)

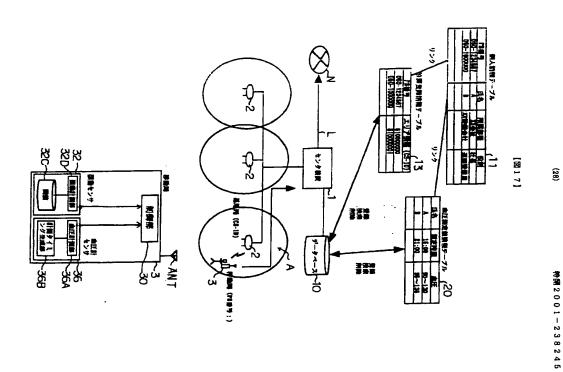
特別2001-238245

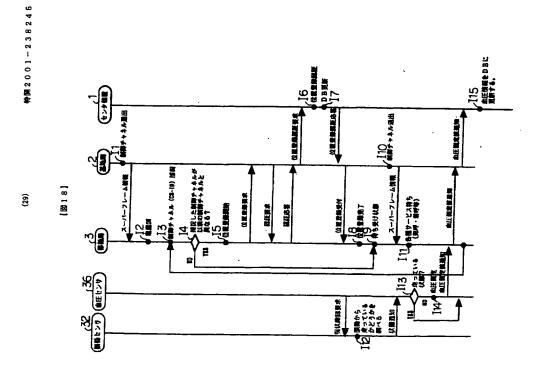
24)

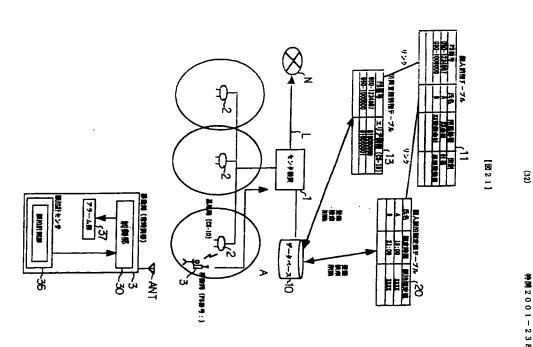




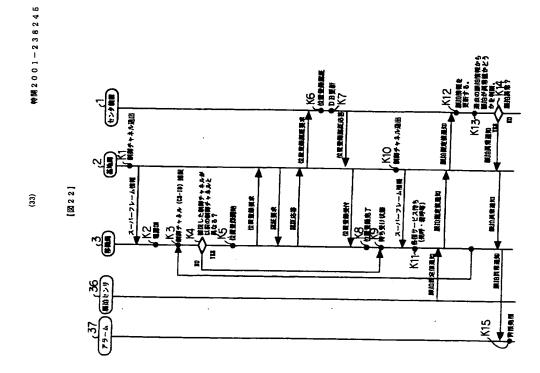
(27)





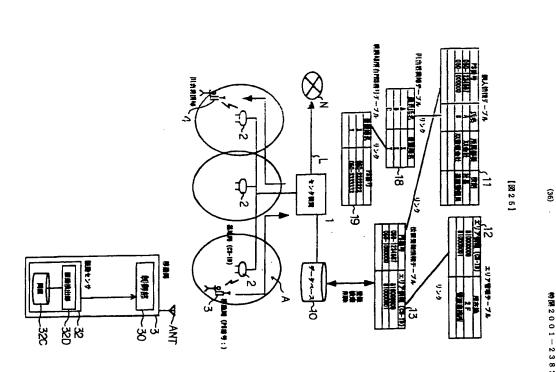


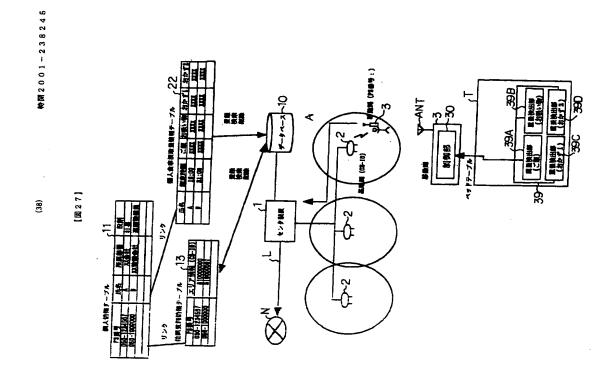
(31)

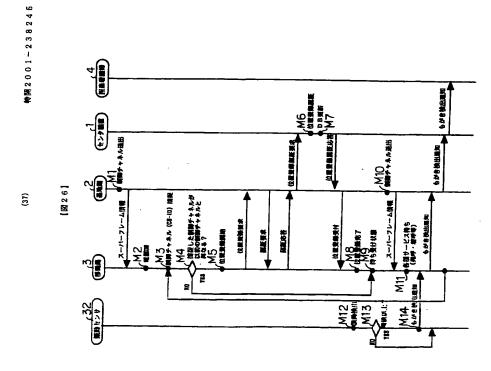


(36)

特別2001-238245









(39)

[國28]



(72)発明者 大石 智子 条式会社内 大阪府門真市大字門真1048春地 松下電工

ドターム(参考) 5KO33 BAOB DAO1 DAO5 DA19 5KO67 AA25 BB04 BB27 CC12 EEO2

(M. (1) 139 を発送、公司の報告がの の報告がの 本学院表現を表 であ SIN SIN 化十四天中国的 Ħ CORPORED ! 金属サービス物の (治学・指導等) N11 #チャルル (CD-1D) 新報 **展印.景本** おりません スーパーフレーム物質 **###** DEFERRATE V HIEVA CON 拉爾爾斯斯斯斯 WHEN WHAN ARRESEN .. 1 8 **EIN**

(72)発明者 三漢 教館 (72)発明者 永田 公 (72)発明者 夢原 雅明 模式会社内 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工 株式会社内 条式会社内 (72)発明者 中馬 量 (72) 発明者 大景 聯 (72) 規明者 上野 華昭 大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工 大阪府門其市大字門真1048春地 松下電工 模式会社内 大阪府門真市大学門真1048番地 松下電工 模式会社内 被火金竹内

フロントページの概念

梅開2001-238245

EE16 EE23 EE32 FF03 FF13

PF18 HH22 HH23 JJ66 KK15

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)